



Living History in 京都・二条城

令和2年1月15日

京都市元離宮二条城事務所

二条城の歴史



1603（慶長8）年	徳川初代将軍家康が京都御所の守護と将軍上洛の際の宿泊所として造営
1626（寛永3）年	三代将軍家光が、後水尾天皇の行幸に合わせて改修し、ほぼ現在の姿となる
1750（寛延3）年	雷火により、五層の天守焼失
1788（天明8）年	市中の大火により、本丸御殿焼失
1867（慶応3）年	10月二の丸御殿大広間にて、15代将軍慶喜が大政奉還の意思表示、二条城は朝廷のものとなる
1884（明治17）年	7月 二条離宮となる
1893（明治26）年	京都御所の旧桂宮御殿を移築、本丸御殿とする
1915（大正4）年	大正天皇の即位の大典が行われ、そのために大饗宴場（現在の清流園の位置）や南門を造営
1939（昭和14）年	二条離宮は宮内庁から京都市へ下賜される
1940（昭和15）年	恩賜元離宮二条城として一般公開をはじめ
1965（昭和40）年	清流園造成 角倉家の屋敷跡から和楽庵、香雲亭を移築
1994（平成6）年	ユネスコ 世界遺産に登録される
2005（平成17）年	築城400年記念 展示・収蔵館 開館
2011（平成23）年	二条城本格修理事業に着手
2013（平成25）年	唐門、築地の修理が完成
2014（平成26）年	東側空間整備事業に着手
2017（平成29）年	東大手門の修理が完成

京都を代表する文化観光スポット



大

清水寺や金閣寺、伏見稲荷大社、嵐山などと並ぶ京都を代表する文化観光スポット

【入城者数】

平成28年度:190万4千人 * 最近20年間は、110~170万人で推移
 平成29年度:243万9千人 = 過去最高を更新(昭和45年度211万4千人)
 平成30年度:215万7千人 = 2年連続200万人

【国・地域別】(平成29年度調査)

日本37.2%
 中国8.1/台湾5.9/アメリカ5.9/オーストラリア4.6/韓国4.5
 フランス3.6/スペイン2.8/ドイツ2.5/イギリス2.2/カナダ2.2
 香港2.1/イタリア2.0

【全国の城郭の入場者数(平成30年度)】(全国城郭管理者協議会調べ)

①大阪城	2,550千人	①←①←②←①
②名古屋城	2,207千人	③←③←⑥←④
③二条城	2,157千人	②←④←④←③
④首里城	1,775千人	⑤←⑤←③←②
⑤姫路城	1,589千人	④←②←①←⑥

【収支】<24>歳入902 歳出603 +298 → <29>歳入1,435 歳出710 +724

* 黒字分を基金に積立て

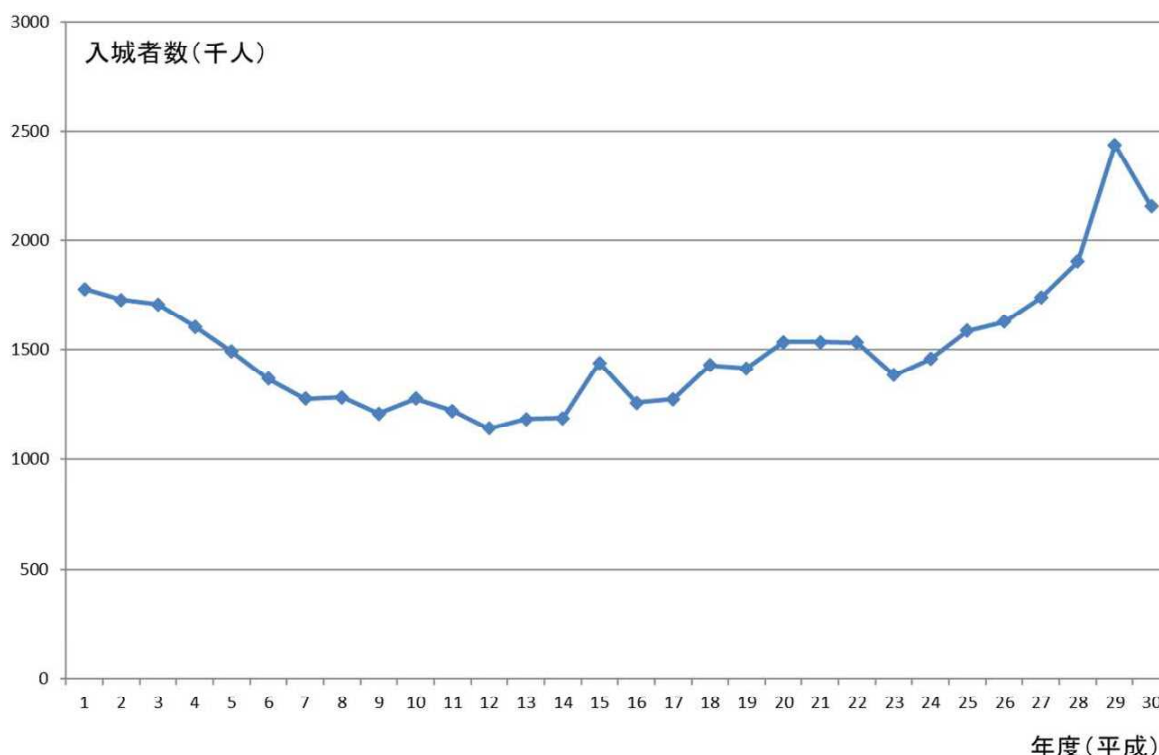
3

City of Kyoto

最近の入城者数の推移



大



4

City of Kyoto

平成23年度からおよそ20年，100億円超規模の事業費



実績：唐門（平成23年12月～平成25年8月）
東大手門（平成26年10月～平成29年3月）
現在，本丸御殿に着手，今後，二の丸御殿等を順次，修理

○財源の確保と文化財保存の意義を広く知っていただくため，
「世界遺産・二条城一口城主募金」に取り組んでいる。

募金開始：平成22年10月から

寄付実績：累計6.42億円（令和元年7月末累計） ※目標50億円

5



スポーツ・文化・ワールド・フォーラム

- 平成28年10月，2020年東京オリンピック・パラリンピックのキックオフイベントが東京と京都で開催
- 二条城でのイベントで，初めて国宝・二之丸御殿内を活用



（参加者）
外国人VIP，政府要人，
一般市民等1，600名

6

◎全体計画（令和元年度～令和3年度）

二条城は、徳川家康による築城以来、3代将軍・家光による後水尾天皇の寛永行幸、15代将軍・慶喜による大政奉還の表明、離宮としての大正天皇御即位の饗宴と、わが国における歴史の転換の舞台となっている。これらは二条城の本質的価値の基盤であり、本事業を通じて、往時の様子を生きた歴史として、日本人のみならず、国外からの来城者にも体感していただくことで、二条城はもとより、わが国の歴史・文化に対する正しい理解促進に寄与することを目的に事業を実施する。

加えて、観光産業だけでなく、再現した伝統産業品等をお土産として販売するなどのものづくりや伝統産業、映画文化など、多様な分野へ波及させ、「文化と経済の好循環」を構築することを視野に入れるものとする。

◎事業実施主体

Living History in 京都・二条城 協議会

会長	濱崎加奈子	(公財) 有斐斎 弘道館館長
副会長	北村 信幸	京都市文化芸術政策監・元離宮二条城事務所長
委員	赤星 周平	(公財) 京都コンベンションビューロー一部長
	土橋 聡憲	(公社) 京都市観光協会事務局長 (日本版DMO)
	早水 督	(公財) 京都伝統産業交流センター専務理事
	松田 大祐	JR西日本 京都交流推進委員会事務局長
	西山 真司	京都市文化財担当部長

7

令和元年度予算額

(単位：万円)

	国補助金	市負担金	合計
補助対象	2,000	1,000	3,000
補助対象外	—	1,000	1,000
合計	2,000	2,000	4,000

8



全体事業スケジュール

- ・ 令和元年度…寛永茶会
- ・ 令和2年度…寛永茶会に加え，大政奉還又は大正天皇即位の大饗宴のいずれかを実施
- ・ 令和3年度…寛永茶会，大政奉還，大正天皇即位の大饗宴の3事業を実施

<参考>

令和4年度以降は，3箇年の事業実施を踏まえ，参加料等の収入で事業実施と，本格修理事業の財源確保の取組みとなるよう検討していく。



寛永茶会～菊と葵～

- ・ 日 時 令和元年11月22日（金）
午後1時～午後2時30分，午後1時30分～午後3時
※11月20日（水），21日（木）も関係者を招待し，上記の時間で同内容のイベントを実施
- ・ 場所及び内容
二之丸御殿黒書院（国宝） 茶席（1席）
二之丸御殿中庭 弓馬術礼法の観覧
二之丸御殿御清所（重文） 説明・解説
- ・ 定 員 各回13人
- ・ 参加料 7,000円（入城料，二之丸御殿観覧料含む）
- ・ 販 売 二条城券売所及びWebチケット販売サイトで販売



寛永茶会～菊と葵～ 説明・解説(御清所)

徳川和子と女官が当時の衣装で登場。衣装や寛永行幸屏風について解説



11

City of Kyoto



寛永茶会～菊と葵～ 茶会(二之丸御殿黒書院)

後水尾天皇が多彩な文化人と交流し形成した「寛永サロン」に集まった人々と、二条城の主、徳川家が一堂に会した夢の茶会の再現。

茶会は、炭火と水を使用し実施。



12

City of Kyoto



寛永茶会～菊と葵～ 弓馬術礼法(二之丸御殿中庭)

徳川家の弓馬術師範として徳川家や大名を指導した小笠原家の小笠原流弓馬術礼法を実施。

